第3回自治会・行政連絡会議資料

町長と語ろう！お茶カフェ集会のまとめ

平成27年度に5自治会、平成28年度は11自治会で開催（平成29年2月14日 現在）

町民の皆さんとの対話を通じて、豊かさと幸せを実感でき、皆さんが住み続けたいと思う町を創ろう。こうした想いを込め、平成27年11月から「町長と語ろう！お茶カフェ集会」と銘打ち、町長との懇談会を自治会を中心に開催しました。町からは町長、副町長をはじめとする町職員がお茶カフェ集会に出席し、町政全般について町民の皆さんのご意見やご要望等をお伺いし、今後の町政に反映させることを目的としています。皆さんからいただいたご意見やご要望等について、平成28年9月17日開催の若宮自治会から平成28年11月7日開催の備南台自治会について一部抜粋してお届けします。

町では平成29年度までにすべての自治会・町内会でお茶カフェ集会を開催し、皆さんとの意見交換を行いたいと考えています。ぜひご協力をお願いします。

問 まちづくり企画課(TEL086・482・0612)

平成28年度

【若宮自治会】

日時:平成28年9月17日(土) 19:00~20:30 場所:大谷荘 参加人数:24人
町出席者:町長・副町長・健康福祉課長・建設農林課長・まちづくり企画課長心得・同補佐・同主幹・同主任

意見・提案・課題	お茶カフェ集会での対応(各課の事後対応含む)
<p>【空き家対策について】 人が住んでいない空き家の管理はどうすればよいのか。植込みの剪定や家屋の老朽化、シロアリ対策、犬や猫の住処になってしまふこともある。所有者に言っても改善されない。収用法を用いて町が片付けて、後から所有者へ請求することはできないか。老朽化した空き家を管理して、移り住んでくる人に利用してもらってはどうか。空き家をいかに活用するかで団地が活性化する。町の考えを聞きたい。</p>	<p>空き家対策に関する特別措置法が平成27年5月に施行されており、それに伴った特定空き家等に対応した調査を現在実施中です(平成29年2月14日現在)。また特措法に基づき、弁護士や司法書士、地元の人をメンバーに加えた空き家対策協議会を平成29年1月に立ち上げ、今後調査結果を踏まえ必要な空き家対策計画をたてて、計画的に実施していきます。住民からの相談内容も計画の中に入れていきます。</p>
<p>【山川池の花壇のパンジーについて】 美しい町づくりということで、山川池の花壇に植えるパンジーを生涯学習課から500本頂いているが、560本欲しい。生涯学習課に相談したが、若宮だけにそんなに多く提供できないと断られてしまった。なんとかならないか。</p>	<p>次回から数を増やし、ご希望の本数をお渡しできるようにします。</p>
<p>【町内の落書きについて】 埋め立て処分地の入り口にあるブロック塀の落書きが平成28年4月から消えていない。いつ消すのか？職員が出入りしているのに気づいていないのか？</p>	<p>所管の備中県民局が平成28年10月12日に消去しました。</p>
<p>【町施策のPRについて】 和気町が東北の被災者を受け入れたことが、メディアに取り上げられた。 本日、最初にいろいろな事業について説明していただいたが、何か1つこれと決めてやったほうが良いのではないか。それをテレビで取り上げてもらってはどうか。いろいろやるのも良いが、もっと絞り込んでやった方がわかりやすいし、町のPRになる。町の考えを聞きたい。</p>	<p>力を入れているのは土地利用についてです。最近、長津に40区画もの住宅用地が造成されましたが、すぐ完売となりました。早島町はそういう人気がある町です。しかし駅周辺の市街化調整区域は、50戸連たんでしか家を建てることができません。今は住みたくても家を建てる場所がありません。私は市街化区域を拡大して若い人に来ていただきたいという思いがあり、いろいろな施策を実施しています。福祉施策も含めて、人が来て住みたい、住み続けたいと思うような町にしたいと考えています。</p>

【下前潟自治会】

日時:平成28年9月30日(日) 19:00~20:30 場所:下前潟公民館 参加人数:14人
町出席者:町長・副町長・まちづくり企画課長心得・同補佐・同主幹・同係長

意見・提案・課題	お茶カフェ集会での対応(各課の事後対応含む)
【JR早島駅の南口について】 JR早島駅の南口がほしい。開いてくれるだけでもいい。そうすればお年寄りが陸橋を歩かなくてもよい。久々原駅にはある。	以前JRと協議をしたことがありますが、JRとしては、南口を付けたら、職員配置の問題などがあると言われる。最終的には利用者数が千人(乗降で二千人)ほどしかいないので、JRとしてできるのはこれだけと言われる。利用者が三千人になると話も変わるので、利用者数を伸ばさなければ土俵にのらないというのが現状です。 久々原駅は複線化のときにできたようです。引き続きJRに要望は伝えていきます。
【五の割踏切の手前の道について】 五の割踏切の手前の道が狭く危険。対向するのが大変だ。北の車が待ってくれないと一番狭いところですれ違うようになる。	建設農林課へ現状を伝えます。⇒線路近接工事となるため、JRと協議を行い、対応します。
【ふるさと納税の返礼品について】 早島の特産品ということで、ふるさと納税でイ草製品を出されているが、何か特産品というか新しいものを考えないといけないのではと思う。現在では町内でイ草を植えているところは無い。	返礼品について、今年新たに米、「にこまる」が加わりました。また、ブドウの紫苑も、現時点で申し込みが100件を超え、最終は130件となりました。吉備中央町は米を返礼品としており、農家支援を目的としています。本町も思いは同じです。返礼品を増やす目的で、現在タイアップ事業者を募集しており、限定数の対応ならできると、いうのもいいと考えています。要望があればまちづくり企画課に伝えてください。

【弁才天自治会】

日時:平成28年10月21日(金) 13:30~15:00 場所:弁才天公民館 参加人数:18人
町出席者:町長・副町長・まちづくり企画課長心得・同補佐・同主幹・同係長

意見・提案・課題	お茶カフェ集会での対応(各課の事後対応含む)
【育休退園について】 育休退園について、岡山では廃止になっているが、早島の状況はどうなっているのか。 母親の負担になり、子どもの数は増えないと思う。	早島では、4歳児・5歳児は、保育園で預かるようにしていますが、それ以外は家庭で見ていただくようお願いしています。⇒平成29年度からは3歳児についても継続利用できるように年齢の拡大を図りました。 育休退園については、まずは待機児童の問題を解消してからと考えています。ある程度目途が立ってくれば、そうした段階で、育休退園についても考えていかなければならないと考えています。
【いきいき体操を終了する理由について】 町が行う「いきいき体操」を3月で終了し、「100歳体操」に変えたと聞いた。町の考えを聞きたい。	「いきいき体操」はもともと1年間行い、習ったことを地元を持ち帰り広めていただきたいという趣旨で始めました。しかし、参加者が同じ人で固定化されてしまうような状況となりました。そのため、一旦ここで終了とし、「100歳体操」に変えさせていただこうと考えています。 なお、今まで「いきいき体操」を利用していた人は引き続きその場を利用していただけなので、自らのグループで集まってやりたいというのであれば、そのグループで指導等を頼むなどして行っていただけたらと考えています。
【道路に反射板を設置することについて】 川沿いの町道から西方面に進み県道へ出る道では途中から道幅が狭くなっている。昼間は問題ないが、夜は見にくく、私有地のブロックにぶつかってしまうことがある。建設農林課へ反射板をつけて欲しいとお願いに行ったが、私有地のものを守るために反射板をつけることは不可とのことであった。破損しているブロックは個人のものだが、車の事故防止、安全な交通の確保という観点から反射板等の設置を検討してほしい。	ご指摘の道路については、外側線が無いため、外側線で対応したいと考えています。
【ゴミステーションの位置について】 リサイクル品が中に入りきらず道に出して並べているが、車の通行もあり、危ないことから川に梁をかけてゴミステーションの位置を後ろに下げ、その前にリサイクル品を置ければ、交通の妨げにもならないことから役場に相談に行った。ところが、建設農林課からは水利権等の問題で許可できないとのことだった。代替地として別の町有地利用の提案もあったが、現在の位置から遠くなるため断念した。なぜ占用の許可ができないのか、梁をかけることに問題があるのか、水利権上どのような問題があるのか、検討いただき、できれば可能としていただきたい。	ご指摘の場所は、交通量も比較的多いため、リサイクル品を道に並べたり回収車が停車した場合には通行に影響があり、現在地はゴミステーションの占用場所として相応しい場所ではないと考えられますので、別の安全な場所への変更をご検討いただきたいと思います。

【真磯台自治会】

日時:平成28年10月24日(月) 19:00~20:30 場所:日笠山公民館 参加人数:21人
町出席者:町長・副町長・健康福祉課長・学校教育課長心得、まちづくり企画課長心得・同補佐・同主幹・同主任

意見・提案・課題	お茶カフェ集会での対応(各課の事後対応含む)
【小学校入学後の児童館の利用について】 子どもが小学校1年に上がった時、ゴールデンウィーク明けまで児童館が利用できないと学校に言われた。その間は城山学級を利用した。児童館を小学1年生の4月から利用できるようにならないか。城山学級の入会や退会の手続きも必要になる。	小学1年生が、学校に慣れるまでの間(ゴールデンウィーク後まで)は、児童館への学校からの直接登園は、原則禁止とさせていただきます。
【一貫教育の成果について】 一貫教育の成果について、聞きたい。	平成19年度から一貫教育を始めて以来、中学生の生活面は大変落ち着いています。また今年度の全国学力・学習状況調査も小学6年が全国平均並み、中学3年が全国平均を大きく上回るという結果でした。小学6年も昨年まで学力に課題がみられていたので、大きな成果だと思います。 また、平成25年に「早島町学校教育ビジョン」がつけられ、地域とのつながりを重視し、校内では郷土について学ぶ「はやしま学」、校外では土曜はやしま塾や国際塾などを実施しています。早島町に愛着をもった児童生徒が増えたのではないかと思います。課題としては、不登校の問題があります。義務教育の間、変わらない人的環境の中で、登校しづらい児童生徒が数名います。現在、未然防止や早期対応に努めているところです。
【グラウンドゴルフ場の使用料について】 グラウンドゴルフ場の使用料は、町民でも町外の者でも300円。なぜ同じなのか。	施設の使用料については、以前は施設を無料で使用していた時期もありましたが、行政改革で有料にしてきた経緯があります。使用料を決めるときに、町内と町外で料金を分けるかどうかの議論もありました。他の市町村の使用料で町内と町外で分けているところもあれば、分けていないところもあります。同じように使うなら町内町外で分けなくても良いと思います。早島町では分けていません。しかし、最近は状況が変わり町外の人利用が増えていると聞いていますので、状況を見ながら判断したいと思います。

【備南台自治会】

日時:平成28年11月7日(月) 19:00~20:30 場所:備南台公民館 参加人数:24人
町出席者:町長・副町長・建設農林課長・まちづくり企画課長心得・同補佐・同主幹・同係長

意見・提案・課題	お茶カフェ集会での対応(各課の事後対応含む)
【空き家対策について】 空き家対策ということで、何か対策を考えているか。取り壊しとかも考えているか。固定資産税が上がる。	早島町の空き家について、現在空き家の実態調査を行っており、まずは現状を調べていくこととしています。取り壊しであるとかそういうことは、空き家対策特別措置法が全面施行されて、危険な空き家に特定されれば、行政代執行で取り壊しができるということになっています。本来、空き家の管理は本人が行うのが大原則です。取り壊しについては費用がかかりますが、助成制度というような部分まではいたっていません。今年度、実態調査と、平成29年1月に空き家対策協議会を立ち上げ、土地家屋調査士や建築士、弁護士を交えて協議する場を設け、実態を踏まえ、今後早島町の空き家をどうしていくかという計画をつくっていきたいと考えています。
【畑岡山地区計画について】 畑岡山地区計画運用指針原案では、建物の高さは20m以下だった。パプコメ後建物の高さは地区の特性により定めるということになった。その後30mの話が出て、25mで決定案が出された。公聴会では、金田・下野並みに建物の高さを20mにしてほしいとの意見に対し、立地予定業者の良好な企業運営を考えると4階建てが必要になるとのことから30mとなり、その後3階建てということになり、現在、25mに下がった案が縦覧されている。最初の20mの根拠は何か。	地区計画運用指針原案時における高さ制限(20m)は、隣接する敷地との関係として、建築基準法における隣地斜線制限の値を踏まえ設定していました。 また、畑岡山地区計画は民間からの提案制度によるもので、最近の物流倉庫として必要な1階あたりの高さや階数の関係から建物の高さが30mと25mの案が設定され、25mで決定となりました。